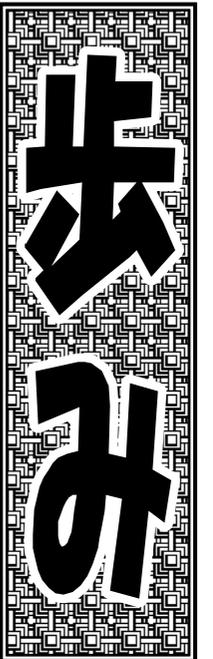


19春闘関西地本第一回集団統一交渉（要求提出）

労働環境と条件の向上で 魅力ある産業の構築を！

基本給一律2万円 65歳定年延長



2019.3.25
NO.628号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
06-6574-8424
078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます



関西地本統一集団交渉（要求提出）に臨む組合員

2月25日、アートホテル大阪ベイタワーに於いて関西地本第一回集団統一交渉（要求提出）が行われました。

はじめに関西地本大野委員長より、日本の就労状況や昨年末より続いた労災死亡事故について話され、「危険な職種であるのにも関わらず低賃金で、若者が来ない状況になっている。このような仕組みを変える為にも魅力ある環境を作らなければならない」と話されました。

その後2月28日に行われる予定であった24時間ストライキに関して、「本来であれば港湾荷役をする場合は事前協議が必要であったが、沖縄で自衛隊の車両を積んだ船が強行荷役を行った為、事前協議制度が形骸化される」とし、さらに「日本港湾協会と全国港湾で団交を行った際にストを回避するような対応を示さなかった為、全港ストライキを行うことになった」と詳細を話されました。

最後に日港協が独禁法に抵触すると主張する産別最低賃金の協定や港湾年金について話され、「これらは、労働環境と条件が他産業に負けないように、魅力ある港湾を作る為の要求である」と告げられました。続いて、関西地本の藤崎書記長より全港湾中央本部

の統一要求である基本給一律2万円と65歳定年延長の説明と、関西地本が要求している内容について趣旨説明を行いました。

また、労災企業補償につ

「見える・聞こえる」 春闘早期・組織拡大・強化へ

2月25日早朝、関西地本の第一回集団統一交渉開催日にあわせて、阪神支部の「見える・聞こえる春闘早期宣伝行動」として、大阪は南港ATCと大阪港、神戸は三宮マルイ前、元町、神戸市役所前の5か所において、各地域の組合員が春闘宣伝ビラを配布し訴えを行いました。

3月18日、25日の両日も集団交渉にあわせてビラ配りが行われます。春闘課題を訴えたビラが一人でも多くの人の目に触れることを願います。

今後も港頭地域での大規模組織拡大宣伝行動も予定しており、今春闘も大幅賃上げ実現と組織拡大に向け



南港ATCにて

いて、2016年に合意した協定書から3年毎に見直すという前提に則り、今回も小委員会交渉にて進めていくことを伝え、団体交渉を終えました。

て、旺盛に運動を行う決意で阪神支部全体の取り組みを進めていきます。



三宮マルイ前にて

下記日程で、運動会が開催されます。
各分会組合員の方は、奮ってご参加ください。

「第54回 神戸港湾 港ぐるみ家族ぐるみ運動会」

日程：4月14日(日)
10時00分開始（雨天中止）
場所：神戸メリケンパーク



「黒つぶいつなみでした。小さかった」（小2、仙台市）、「へドロが乾燥して、粉じんが

まい、とても体に害のあるものになってしまいました」（小6、宮城県石巻市）2011年に出た「つなみ被災地のことも80人の作文集」（文芸春秋臨時増刊号）を読み返す。過酷な体験の一方で子どもたちは鋭い感性で津波の色やにおいに気づいていた。「産業廃棄物を含むへドロは普通の泥ではな」。呼吸器が専門の石巻赤十字病院の矢内勝副院長が教えてくれた。東北の沿岸には製紙工場をはじめ数々の工場がそろう。排水が流れ込んだ海底にはヒ素や鉛など有害物質が堆積している懸念がある。へドロは乾くと粉じんとなって飛散した。呼吸器疾患は阪神・淡路大震災の際にも多発した。高齢者を中心に肺炎が相次いだ。アスベスト（石綿）が含まれている瓦礫（がれき）もあった。倒壊家屋や処理場の近くを、マスクもつけず奔走していた人々の姿を思い出す。吸い込んでから十数年から50年後に被害を起す。そのリスクはいくら強調してもすぎることはない。阪神・淡路の教訓である。

全国港湾を中心に 19春闘をたたかい抜こう！

大港労協19春闘臨時大会

3月8日大阪港湾労働者福祉センターにおいて、大港労協19春闘臨時大会がこなわれ、阪神支部から9名が参加しました。

2024年に開業を予定しているカジノ、さらに翌年に開催される大阪万博、そして本年6月28・29日に大阪南港で開催される20万国地域首脳会議（G・20）について、大阪港の港湾の環境に大きな影響が懸念されます。海運、港運関係ではサミット開催に際し、コンテナをはじめとする物流

やフェリーを利用する旅客への影響に関心が集まっています。

交通規制は6月27～30日までの4日間にわたり、会場となる南港のインテックス大阪周辺に加え、各国首脳宿泊ホテル周辺や利用が予想される空港周辺、それらを結ぶ高速道路及び一般道路としています。

警戒上必要な場所では検問も行い、海上航行では6月24日頃からの1週間、大阪港や閑空などの周辺海域で「航行予定の事前通報」と明らになる不正や隠れ、毎月勤労統計の不正は国政をゆるがす大問題となりました。

日本共産党の志位委員長が安倍首相と予算委員会で論戦した結果、消費税増税の根拠はあらゆる面で崩れました。消費税増税のたびに景気は冷え込み、経済への打撃は国民の実感するところと、その点について安倍首相は「いただいたも

のほすべてお返しする」

や「船舶や積み荷などの検査・確認」などを予定しています。荷役などを目的とする岸壁への離着岸は可能。また、公共交通機関は現時点で運休などの予定はりませんが間引き運転を検討しています。

そして我々が最も危惧することは、万博開催も含め大阪港の物流拠点としての機能障害を引き起こし、港湾利用者に敬遠されはしないかということです。

既に風評被害として大阪港の利用を取りやめようとする荷主からの声も聞こえています。開催後の大阪港の取扱い貨物総量が減ること、港運事業者の経営と雇用に直結することが懸念

と、軽減ではない複数税率の導入や、キャッシュレス決済の「ポイント還元」、

「プレミアム付き」商品券の発行などは、増税額よりもはるかに多くの予算を投じます。返すなら最初から

と、軽減ではない複数税率の導入や、キャッシュレス決済の「ポイント還元」、

「プレミアム付き」商品券の発行などは、増税額よりもはるかに多くの予算を投じます。返すなら最初から

と、軽減ではない複数税率の導入や、キャッシュレス決済の「ポイント還元」、

されます。

港湾局を中心に協力要請を受けていますが、このままでは黙って協力ができません。少なくともG・20や万博開催にともなう大阪港の

港湾機能を阻害に対する具体的保障措置を担保しなければなりません。大港労協としても、「大阪での開催は反対をしない。しかし港

湾機能が集中し、物流拠点である南港地区であることには大いに反対である」と訴えられました。

春闘方針提案では、「私たちの暮らしと日本社会の未来がかかった歴史的な春闘にしなければならぬ。

は火を見るよりも明らかです。他にも9条改憲、沖縄県名護市辺野古での米軍新基地建設といった安倍政権の暴走、国民が安心して平和に暮らせる政治実現のため

も、都構想は住民投票で否決されたものです。それをないがしろにしてまたそろ税金を浪費しようという発想が府民を馬鹿にしています。カジノも都構想もいらない！これは大阪府民の民意です。府民の生活を鑑み

たまともな政治を取り戻すべく選挙に臨みましょう。

統一地方選挙、続く参議院議員選挙に野党共闘が勝利し、大阪の政治を府が儲けるためではなく、府民の生活の為の政治に変換し、

労働者・国民の暮らしを守る課題、憲法違反の戦争法を廃止に追い込むこと。

平和憲法を守り、立憲主義・民主主義を暮らしに生かす、全組合員参加型の活動を進める。また、共同をさらに広げ、労働運動の総力を結集して強いたたかづ必要がある。

今春闘で大幅賃上げ、時間短縮を勝ち取ることで労働者の暮らしを改善するとともに、消費不況を打開し日本経済を発展させる事が重要である」と語気を強めました。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

「労働組合としてのよ

うな運動を展開するべきか問われるところであるが、まずターミナル作業における料金は、作業基準を順守させ、そのコストを元請が

船会社に要求し、收受すること。それと同時にターミナルリース料の減免を含む、固定費の削減分を国土交通省などから算出させ

ること。さらに大規模流通倉庫・施設における職域を確保し、法令順守を基本に適正料金として收受させること。これらの課題は中央

と地区が今以上に、真剣に取り組まなければならない課題である」等々の提案がされました。

さらに「事前協議制度を港湾利用者に徹底させること」が最重要課題である」と述べられました。

2月2日に沖縄県中城港で自衛隊の車両を積んだRO/RO船「はくおつ」の強行荷役による事前協議制度違反について、2月19日の中央港湾団交の際、日本港運協会（日港協）に協議

違反に対して対応を求めましたが、協会側から謝罪すらないことにストライキの通告を行いました。

再度、同22日・25日の非

公式の折衝でも誠意ある対応がなく、協議は頓挫しました。スト決行の記者会見に至るまでになりましたが、28日直前にスト延期が決定されたことについて

は、一定の謝罪に至った経過によるものです。しかし、協会側の行為はまさに港湾労使で築いてきた事前協議制度の歴史を軽視する行為です。

19春闘も中盤となりこれから山場を迎えますが、我々港湾労働者の歴史と未来を見据え、労働組合としてのあらゆる力を総動員して、今まで以上のたたかいにしなければなりません。

書記次長 久保田 稔

事前協議制度とは

日本港運協会と全国港湾労働組合連合会および港湾運輸同盟との間の協議と、日本港運協会と船主協会内部の船社・港湾連絡協議会との間の二者二者協議という形をとる。

簡単に言うならば、港運の現場における作業体制の変更をとるなどについては、船社は港運業者および港湾労働組合にあらかじめ連絡し、その了解を取り付けるための制度である。

主張

選挙イヤー、政治を変えるための年にしよう！

の根拠はあらゆる面で崩れました。消費税増税のたびに景気は冷え込み、経済への打撃は国民の実感するところと、その点について安倍首相は「いただいたも

のほすべてお返しする」

と、軽減ではない複数税率の導入や、キャッシュレス決済の「ポイント還元」、

「プレミアム付き」商品券の発行などは、増税額よりもはるかに多くの予算を投じます。返すなら最初から

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

また、認可料金の復活や適正料金を收受する運動が、「独占禁止法」との関係及び腰であることも指摘されています。

神戸港湾19春闘討論集会

神戸港湾19春闘方針確立

2月26日、神戸ポートオアシスに於いて2019年神戸港湾春闘討論集会が開催されました。

開会の挨拶で西澤事務局長は、19春闘の動向について報告され、今討論集会での活発な討議による神戸港湾の春闘方針確立を呼びかけました。

主催者を代表して吉岡議長より2月19日の中央港湾団交の経過報告が行われ、「28日に予定されていたス



主催者挨拶に立つ吉岡議長

トライキに申し延長の連絡があり、皆さんには大変ご迷惑をかけた」と報告されました。

続いて全国港湾の玉田書記長より今春闘の取り組みについての説明がありました。

冒頭、この度の事前協議違反についての経過報告があり、「2月22日、25日と日本港運協会との交渉を続けてきた結果、常任執行部でストライキの延期を決定した」との報告がされ、

「今後については産別最賃の回答も含め、中央労働委員会のあつせんに従うのか否かについても誠実に対応するか見守りたい」と述べられました。



春闘課題を説明する玉田書記長



井ノ元副委員長

ならない」ことに加え、「機械化による合理化・自動化には断固反対してい

く。そして国民的諸課題として沖繩の問題、組織の強化・拡大に取り組んでいきたい」と力強く述べられました。

続いて神戸港湾としての春闘方針を高島事務局長よ

青年部スキーツアー

食べきれないカニと初スキに充実

先日行われた青年部主催の1泊2日のスキーツアーに参加してきました。

私は家族で参加させてもらったのですが、子供達も普段なかなか見るこの出

副委員長 松本 栄一

カマヤン 老いを感じる日 ありむら港



来ない雪が見られると言ったこともあって、ずっと楽しみにしていました。今年のは暖冬という事もあり雪があるか心配しましたが、なんとか雪もあり、子供たちは初めてのスキーにも挑戦出来て大変喜んでいました。



スキーツアー参加者一同で記念撮影

夕食では食べきれないほどのカニが振る舞われ、翌日は城崎温泉へ観光に行き、とても充実した2日間でした。

今回の企画を通して他の分会の方たちとの交流も深める事も出来ましたし、これからの様々な活動にも参加していけたらと思います。

大運分会 築瀬 浩一

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】
下の英字は何を表しているでしょう？
T.OFOFNTSFTFENSNTTTE...

627号の回答 「5円」

13名の方から応募があり、12人が正解でした。抽選の結果、以下5人の方に図書カードを進呈します。

西野太基・堀古知司・藤井啓介(ジャパンEXP) 長野雄二(大運)、松井謙一(三林)

628号の締め切り日は、4月5日(金)です。ふるってご応募ください。